化学の こばなし86

科学実験大会2013

去る3月20日、科学実験大会2013を開催しました。実験大会は、2009年から始まり今回で4回目。世間には、さまざまな実験を開発し、それを披露している人がいるに違いない、そして、そのような方々に集まってもらい科学館で実験を次々披露してもらえたら、とても盛り上がるに違いない、と始った企画です。今回は、11組の方々に登場いただき、10:30~16:00まで、楽しく面白い実験を披露



今年も大盛況の実験大会

してもらいました。大会の内容を本紙面でもお伝えしましょう。

- ◆1組目 近藤雅子さん「アルキメデスのおどろき浮力」 近藤さんは、科学館でこの1年間サイエンスショーなどを担当するアルバイト をしてくれていました。実験は、浮力とは何かを紹介したのですが、ペットボトル を使って押しのけた水の重さ分だけ、浮力になるという現象を分かりやすく紹介してくれました。
- ◆2組目 近畿大学理工会NEDEさん 「電気を作ってためてみよう!」 近畿大学の学生チームです。人力発電と次世代の発電として注目されている 燃料電池の紹介でした。自転車を改造して発電できるようにし、しかもその電 気で、燃料電池の燃料、水素と酸素を作りました。
- ◆3組目 サイエンスシェフズさん 「科学でお料理」 小学生の姉妹とそのまとめ役として、科学デモンストレーターの渚さんが登場。台所にある、ジュースや調味料などを使うことでカラフルな、そしておいしそうな飲み物やデザートを作ってくれました。みかんの薄皮を重曹を使って取る実験もバッチリでした。
- ◆4組目 ぱぱとはるさん 「ぱぱとはるの空気で実験」 M-1グランプリにも出たことがある、お父さんと娘さんの元気な、空気に関する実験。お父さんが開発した、浮き球実験も素晴らしかったし、漫才ののりで次々に実験を見せてもらうスピード感と面白さに圧倒されました。
- ◆5組目 幡田榮一さん 「白色、黒色、闇色?」 光があって、色の識別をするわけですが、光がないとはどういうことそして、どうなるかをパネルを使って説明していただきました。

- ◆6組目 坪井建治さん 「いろいろな発電をしてみよう」 科学デモンストレーターの坪井さんは、太陽光発電、温度差発電、振動発電な ど、さまざまな発電方法を丁寧に実験してくれました。実験が決まったときのド ヤ顔が印象的でした。
- ◆7組目 NAIST Science Communicatorsさん 「カラフル!ミラクル!いろいろ色のマジック!」 初出場の奈良先端大の院生の皆さんが、元気に色変わりの化学実験を見せて くれました。その元気さにつられ子ども達が、大声で反応しているのが印象的でした。
- ◆8組目 エジソン音工房さん 「ふしぎ実験、音の正体」 フクロウやカエルのような音を物をこすって出してもらいました。さらに、大きな声で、ロウソクに音を刻み込む仕組みを作り、それを再生すると同じ音が聞こえる実験をライブでしていただきました。
- ◆9組目 近畿大学化学研究会さん 「空気と水を使った不思議な実験」 近畿大学の学生の皆さんが、やはり元気に、実験をしてくれました。空気砲では、見事にリングを作り、メスシリンダーに入れた水の色が次々と変わる実験で、皆さんの目を引いていました。
- ◆10組目 山本直弥さん 「氷でサプライズ!」 1組目の近藤さんと同じく科学館でアルバイトをしてくれていた山本さんは、 大学院の研究題材でもあったメタンハイドレートについて実験をしてくれました。人工メタンハイドレートでしたが、実際に燃やす様子に、みな感動でした。
- ◆11組目 木村友美さん「いっしょにゆれる?ブルブル実験」 実験大会の取りは、4年連続 出場の木村さん。いつも斬 新な実験でお客さんをひき つけます。今回は、振動する ものの物理の仕組みを、振り 子や、長い円柱の道具で紹 介してくれました。

今回もたくさんのお客さん にお越しいただき、熱い視線の 注がれる中、楽しくためになる 実験を参加者に披露していた だきました。次回の実験大会は



大会終了後の集合写真 お疲れさまでした。

どんな実験が見られるか?今からとても楽しみです。小野 昌弘(科学館学芸員)